

令和3年5月27日（木曜日）

午後2時00分開会

○ 進 行 定刻となりましたので、市長就任記者会見を始めさせていただきます。
それでは、記者クラブ幹事社、毎日新聞さん、よろしくお願いいたしますませ
す。

○ 毎日新聞 幹事社の毎日新聞です。
まず、何回も伺っている点ではありますけれども、今後の4年間に向けた決意を簡単で構いませんので、お願いします。

市長就任あいさつ

○ 市 長 皆さん、こんにちは。
5月23日執行のさいたま市長選挙におきまして、多くの市民の皆様の温かいご支援をいただき、引き続き市政運営を担わせていただくことになりました。本日、4期目の初登庁の日を迎えましたが、市長として課せられた使命、また責任の重さに改めて身が引き締まる思いであります。

本日、4期目の新たなスタートに臨み、今後の市政運営に当たっての決意と取組についてお話をさせていただきます。

私は、今回の市長選挙を通じて、さいたま市は今、2つの危機に直面しているということを訴えてまいりました。1つは、新型コロナウイルス感染症による危機です。もう一つは、おおむね10年後と目される人口減少の到来による危機です。市民の皆様からもコロナ禍を克服していくことへの切実な願いや、さいたま市の持続可能な発展への期待や希望を伺ってまいりました。

私は、さいたま市が歴史的な2つの危機に直面している今こそ、市民の皆様と一緒に英知を結集してコロナ禍を乗り越え、希望あふれる未来に向かうべく、全身全霊で市政運営に取り組んで行く所存であります。

平成21年5月の市長就任以来、この12年間で1,200回を超える現場訪問等を行うなど、徹底した現場主義を貫き、常に全力で市政運営に取り組んでまいりました。

おかげさまで、成長力についてはゼロ歳から14歳の人口増加が6年連続で全国第1位となり、財政力指数では政令指定都市3位、市債残高は2番

目に少ない、市民満足度ではさいたま市を住みやすいと答える市民の割合は86.3%と過去最高を記録するなど、成長力、財政の健全性、市民満足度のいずれにおいても政令市トップクラスの成果に結びついてまいりました。

また、民間の調査によりまず指定都市幸福度ランキングでは、政令指定都市で幸福度1位、SDGs先進度ランキングでは全国で1位という大変高い評価をいただくことができました。これらの結果は、申し上げるまでもなく、市民や事業者の皆様のご協力の賜物にほかなりません。心から感謝を申し上げたいと思います。

しかしながら、私たちは今、新型コロナウイルスの脅威に直面し、人口のピークを迎えるまで残り10年ほどという大きな歴史の岐路に立っております。

私は、かつてないほどの重要な局面を迎えているさいたま市を新時代に向かって前に進め、都市としての魅力をさらに高め、この4年間に4つのシンカを実現していくことを市民の皆様とお約束をいたしました。

1点目は、今ここにある危機である新型コロナウイルス感染症にまずは全力で立ち向かうこと、そしてコロナ禍においても待ったなしである首都直下地震などの自然災害に対する備えを強化するなど、都市の強靭さをシンカさせることです。

2点目は、常にSDGsの実現を意識しながら、子育て楽しいさいたま市、女性一人ひとりが輝くまち、生涯現役のまち、ノーマライゼーション地域社会などを実現し、市民の皆様のしあわせをシンカさせることであります。

3点目は、東日本の中核都市、ゼロカーボンシティ、国際スポーツタウンなどさいたま市の魅力や強みをさらに伸ばし、さいたまブランドを確立し、成長の面でシンカを果たすことです。

最後に4点目は、これらを下支えする強くて持続可能な行財政基盤を構築するため、デジタル八策や公民学の共創による公共サービスの構築を進め、市役所をシンカさせることです。これらのシンカに向けて、市民の皆様のご理解とご協力をいただきながら、スピード感を持って取り組んでまいります。

その中でも最優先で取り組まなくてはならないのがワクチン接種です。既に75歳以上の市民の皆様には、段階的に接種クーポン券をお送りしておりますが、6月4日には65歳から74歳の皆様にも接種クーポン券をお送りいたします。そして、高齢者の皆様の集団接種を6月13日日曜日に見沼区役所と岩槻区役所で先行実施し、さらに翌週19日から7月末までの土曜日、日曜日には接種会場を全区役所に拡大してまいります。

なお、この集団接種の予約は、本日からインターネットを活用したウェブ予約またはコロナワクチンコールセンターでの電話予約で受付を始めました。

また、インターネットでの予約について不安に感じていらっしゃる皆様のために、区役所や公民館、図書館での相談窓口を開設しております。職員が予約のお手伝いをいたしますので、ぜひご利用いただきたいと思っております。

6月中旬からは、区役所以外の集団接種も順次スタートします。希望する65歳以上の皆様が、7月末までに接種を完了できるように全力で取り組んでまいりますので、皆様には、安心してワクチン接種を進めてくださいますようお願いいたします。

最後になりますが、市政のかじ取りに当たりましては、これまでと同様に「責任と共感・共汗」、「徹底した現場主義」、「公平・公正・開かれた市政」という3つの基本姿勢を貫いてまいります。

そして、この12年間、市民とともにまっすぐに取り組んできた成果に自信を持ちつつ、難局の時代を乗り越えていくために、皆様と力を合わせて進み、「市民一人ひとりがしあわせを実感できる絆で結ばれたさいたま市」、「誰もが住んでいることを誇りに思えるさいたま市」を実現してまいりますと考えております。

皆様のご支援とご協力を心からお願い申し上げまして、市長就任のご挨拶とさせていただきます。

市長就任あいさつ等に関する質問

○ 毎日新聞

質問に移りたいのですがけれども、告示日に詳細な公約を公表されたかと思えます。100以上ある意欲的なものですがけれども、この中からこの4年間優先的に取り組んで、市民が具体的に成果だったり進捗だったりを検証

できるようなものを幾つか教えてください。簡易版の発表の際には、待機児童ゼロというものが挙がりましたがけれども、1つに限らなくて構いますので、お願いします。

- 市長 まず、待機児童をゼロにするということについて、しっかり引き続き続けてまいりたいと考えております。私たちとしては、認可保育所の更なる整備を進めていくことと、これは選挙戦でもお話をしてきましたけれども、多様な受皿というのでしょうか、要するに未就学の子供たちの受け入れる機会と場所を増やしていきたいということで子育て支援型幼稚園、あるいはナーサリーなど、そういったものを複合化させながら、それぞれのご家庭の教育方針、あるいは経済状況、家庭環境などを踏まえて、そのニーズに合わせて選択していただけるよう進めていくつもりです。

あと、全体的に先に申し上げますと、私自身が打ち出しましたマニフェストの詳細な部分については、今後行政計画にしっかりと落とししていくつもりでして、年度ごとに、どのように進捗させていくかということについては、今後、総合振興計画の実施計画などの改訂も併せて行う中で、それを市民の皆様にともしっかりとお示ししていきたいと考えております。

あと、福祉の分野で言えば街頭などでも訴えてきましたけれども、いわゆるケアラー条例、あるいはヤングケアラーに対する対応などについては、しっかり充実を図っていきたくて考えておりますので、これも年度ごとにしっかりとスケジュール感を持って進めていきたくて考えております。一個一個言いますとかなり言わなくてはいけないので、(ここでお返しします)。

- 毎日新聞 投票日にメディア各社で出口調査を行いました。その関連で伺いますけれども、市庁舎移転に関して反対が一番多くて4割ぐらいありましたけれども、これはどのように受け止められますか。

- 市長 出口調査については、民間の皆さんがやっていただいた調査と、あと公表されているものでNHKがやられた調査と、2つあったと認識しております。民間の皆さんのほうは反対が40、賛成が二十幾つですかね。NHKのほうについては、それが逆になっていたという状況です。

これは、いずれにしても賛成と反対がある意味では拮抗しているということで、それぞれ過半数になっていない状況の中で、やはりまだまだ説明

が十分ではなく、態度を決めていない方々もそれぞれ4割ぐらいいらっしゃるということですので、今後そういった説明なども含めて、しっかりと市民の皆さんに情報提供しながら、善処していきたいと考えております。

○ 毎日新聞

あともう一つ出口調査の関連で、一昨日、京都市が財政破綻しそうだということを発表しました。要因の一つが地下鉄をつくって、建設費と、あと十数年で1,000億円ぐらい赤字補填しなければいけないということがありました。

さいたま市でも埼玉高速鉄道の延伸があつて、新聞社などの出口調査では優先課題として選んだ人は2%ちょっとで、岩槻区でも14%だったか、あまり高いものではありませんでしたけれども、市長としてはやはり、それでもやはり推進すべきだとお考えですか。

○ 市長

地下鉄7号線の延伸につきまして、これまでも検討の段階から実施の段階に移っているということは、前の期から含めまして相当長い期間申し上げてきているところです。

その中で、やはり私たちが一番重要視しているのは、採算性の問題というのが大きく挙げられていると思っております。その中で、B/Cであったり、あるいは黒字化する年度がどのぐらいかかるのかということが一つの大きな課題でありましたけれども、最近の調査ではB/Cも1を超えると、それから単年度黒字になる期間も30年以内になってくるという試算がなされているところです。しかし、その中でやはり私たちとしては事業性を高めるということが、しっかり見極められないとやはり前に進むことはできないということで、中間駅の、これはどちらが先かということではありませんけれども、中間駅のまちづくりについても今、検討しておりますので、そういったものの中で総合的な判断をしながら、前に進めていくことが必要だと認識しております。

○ 毎日新聞

選挙に関連してもう一点、市長は現場に、多くのところに行かれて、福祉関連の団体とかでも市長が来ましたみたいな話は聞きます。その一方で、選挙戦で相手候補が今の市政は冷たいといって、給食費の話や水道費の値下げの話を上げていました。

市長としては、この冷たいという評価は、心外だといいますか、違うなとお考えになりますでしょうか。

- 市 長 はい、そのとおりです。
- 毎日新聞 具体的に例えばこういうことを今までしてきたので、違うんじゃないか
 ということは。
- 市 長 選挙戦でも申し上げてきましたけれども、福祉についての予算について
 は、例えば扶助費については今年度予算の部分も含めていくと、12年前
 と比べて(約2.7倍)に増加しました。高齢者福祉は1.8倍、それか
 ら障害福祉は2.4倍、そして子育て支援は2.6倍に予算を増やしてき
 たわけで、そういう意味では福祉にはかなり手厚く、政令市で福祉の予算
 についての伸び率は、さいたま市は令和元年の決算ベースでいいますと第
 1位ということになります。そういう意味では、当たらないと思います。
- 毎日新聞 あと2点、別のことに関して伺いたいのですが、まずコロナに関してで
 すが、ワクチン接種ですとか予約は順調に進んでいるとお考えですか、そ
 れとも何かまだまだという感じでしょうか。
- 市 長 現時点では順調に進んでいると思っておりますが、これからさらに安心
 感を高めるための更なる増強なども含めて、やはり市民の皆さん、一番こ
 のコロナワクチンの問題について今大変関心が高くて、やはり安心感をも
 たらすということは、すごく重要だと改めて感じたところでもありますの
 で、そういう意味ではそういった対応も含めて、更に充実を図っていきたく
 いと考えています。
- 毎日新聞 最後にまた違う認識で、市長は性的指向や性的自認で差別を受けるべき
 ではないとお考えになりますか。
- 市 長 はい。
- 毎日新聞 今、国会で審議されているような法律は、当然成立してしかるべきもの
 だとお考えですか。
- 市 長 必要なものだと思います。
- 毎日新聞 各社お願いします。
- 埼玉新聞 埼玉新聞です。
 改めてですけれども、地下7と市庁舎移転、今年度、4年間でですけれ
 ども、本年度と合わせて4年間でどういうふうに進めていくのかというの
 をお聞かせください。
- 市 長 地下鉄7号線について申し上げますと、まず今年度は中間駅のまちづく

りの計画づくりを進めております。それから、これまでも申し上げましたとおり、今まで事務レベルでの協議を課長レベルでやっておりましたが、それを更に部局長レベルということで上げさせていただいて、今後さらに関係自治体、あるいは関係機関との調整を含めながら進めていくことになると思います。具体的な年度的なスケジュールについては、今後お示ししていきたいと考えております。

本庁舎についても、今後、跡地の問題であったり、まちづくりの問題なども指摘をしていただいているところですので、そういった精査をするための予算化なども含めて、これから進めていきたいと考えております。これらのスケジュールについても、今後お示ししていきたいと考えております。

- 埼玉新聞 市庁舎の移転については、新年度予算には入っていませんけれども、6月議会には補正で追加するというところでよろしいのですか。
- 市長 そういうことも検討しております。
- 埼玉新聞 あと、市庁舎の関係の条例、特別議決ですか、その条例を出すタイミングというのはどういうふうを考えていらっしゃいますか。
- 市長 現状としては、いつということは申し上げられませんが、適切な時期にと考えております。
- 埼玉新聞 2年後統一地方選なので、その統一地方選の前に適切な時期にとということですか。
- 市長 ちょっとその辺は、まだ現時点では申し上げられません。

その他：生活保護費の不正支出について

- 埼玉新聞 また別ですけれども、生活保護の不正支給の関係で職員の方を免職されましたけれども、和光市のケースですと、レベルが違いますけれども、市長さんが辞職という重い決断をされましたけれども、清水さんとしては今回の件で何か自らの処分というのは考えていらっしゃいますでしょうか。
- 市長 これまでいろいろな不祥事がございましたので、そういったときのケースなども踏まえながら、最終的に判断をしていきたいと考えております。
- 埼玉新聞 最終的に判断というのは、何らかの処分ということも検討するということですか。
- 市長 これまでのいろいろな事例なども含めて、自分自身で考えて判断をする

ということです。

市長就任あいさつ等に関する質問

- 東京新聞 東京新聞です。
- 今のご質問とちょっと関わるんですけれども、6月議会の議会運営委員会、明日あたりとか、もうすぐ迫っているんですが、市庁舎ですとか地下7に関して、何か今度の直近の議会で出される予定というのはあるんでしょうか。そこも含めてまだ言えないということですか。
- 市長 明日、議運の場でお話することになっておりますので、6月議会のこのタイミングで出すものとしては、申し訳ありませんが、明日以降ということでご理解いただければと思います。
- 東京新聞 あと、先ほど出口調査で、市民の方に問題自体が、市庁舎のほうですけども、問題が知れ渡っていないと。6月議会を出すかどうかというのもそうなんですけれども、市民に知らせる手続を取らなきゃいけないと。ここはどのように、並行してやっていくのか、どんな方法を取るのか、今お考えのところを教えてください。
- 市長 これまでも、いろいろな形で市民の皆さんとコミュニケーションをさせていただいてきました。例えば、タウンミーティングをやったり、あるいは、現時点ではまだパブリックコメントという段階ではありませんけれども、いろいろな形で市民の皆さんの意見を聞いたり、あるいは意見交換をしてお話をいただくという機会は、これから、やはり今、お話のとおりまだまだ市民の皆さんに広く認識をしていただけていないと思いますので、そこについては、しっかり並行してやっていくべきことだと認識しております。
- 東京新聞 並行でいいのでしょうか。先にそれを聞いてから出すのではなくて、議会に出しながら並行していくみたいな、そういう形になりますか。
- 市長 そうですね。やはり現時点のものと、あるいは議会のほうからもご指摘いただいているのは、ここの跡地利用の問題であつたり、あるいはまちづくり全体の部分について、やはりもう少し精査をしたものが必要ではないかというようなご指摘などもありますので、そういったことも踏まえながら、並行してやっていくことが望ましいのではないかと考えております。
- 東京新聞 あと市長選の絡みで、先ほどちょっとお話も出ましたけれども、対立候

補の方が公共料金の値下げとか給食費とか、確かにコロナで困っている方がいるのは事実なので、そういうことは検討してもいいんじゃないかというのはいささか耳を傾けるべき意見なのかなとも思ったのですが、その辺り例えばもう少し経済的に困窮している方に寄り添うような施策とか、今後考え得る、参考にできるポイントはあるんじゃないかと思うんですが、その辺受け止め方はいかがでしょうか。

○ 市 長 コロナ禍によって、生活に大きく影響を受けていらっしゃる方と、やはり影響は受けているけれども、比較的軽微な方といらっしゃるのではないかと考えております。その中で、やはり特に困窮度の高い皆様方には、いろいろと配慮していく必要があるのではないかと考えておりますが、その辺限られた財源ですので、国あるいは県がやっている施策のはざまを埋めていくものであったり、あるいは上乘せをしていくものであったり、あるいは全く違う考え方であったり、やり方は多分幾つかあると思いますので、その中で適切な対応をしていきたいと考えております。

○ 東京新聞 具体的にはご予定されているというのは。

○ 市 長 今はまだこの場で申し上げられることはございません。

○日本経済新聞 日経新聞と申します。

ワクチンのことに関して伺いたいと思います。先ほど現時点での予約の状況、順調に進んでいると感じているというご発言でしたけれども、どういう点で順調に進んでいると思っているのか、もう少し伺えますでしょうか。

○ 市 長 当初こちらで計画していた流れの中で、おおむね順当にいつているのではないかと考えていまして、最終的に私たちとしても7月末までに65歳以上のご希望される方が、2回ずつ接種ができるための準備をしているところであります。ワクチンの入荷状況なども踏まえながら、これまで計画をつくってきておりますので、その中で、現時点で言えばということです。ただ、もちろん電話あるいはウェブ等でアクセスがしにくい環境があるなど、そういった課題は十分に認識しておりますので、そういった課題の解決はしていく必要があろうかと思っております。あと、やはりまだまだ市民の皆様の中に不安をお持ちの方がたくさんいらっしゃるということも、選挙戦を通じて非常に強く認識したところですので、市民の皆さんに

ワクチン接種についても一日も早く安心していただけるような情報をしっかりと提供していくことが、すごく重要な課題だと思っております。それについて今、準備を進めておりまして、引き続き適切なタイミングで、市民の皆さんが少しは安心して予約の申し込みができたり、お待ちいただけるような形にしていきたいと考えております。

○日本経済新聞　　今課題として、電話であつたりとかウェブでアクセスしづらいということ認識していらっしゃるということだったのですけれども、具体的にどういう形でこれを解決していきたいのか、ちょっと教えていただけますでしょうか。

○市　　長　　まず、電話については回線を増やすということは既にやるように指示もしておりますし、その準備も進められていると聞いております。

また、これから高齢者から、今後だんだん若い皆さんになってきますので、その際にやはりウェブのアクセスがもっとスムーズに行く必要があると考えておりますので、そこへの対応についても既に指示をしているところです。

あと、まずは当面は7月末までに、このぐらい予約がちゃんと取れて、ちゃんと皆さんがご希望されれば取れるんですよという、そういった情報の見え方も併せてしていくことによって、どうしてもワクチンの予約開始日にもものすごいアクセスが殺到するという傾向が強くなりますので、少しでも安心していただくことによって、ちゃんと接種が受けられますよということを理解してもらいやすいような情報提供であつたり、環境づくりをしていきたいと思っております。

○日本経済新聞　　今後迅速なワクチン接種に向けて、供給量も増えていくと思うんですけれども、どういった形で迅速な接種というものを進めていくのか。例えば医療機関に対して、独自で接種するたびに上乗せして協力金や支援金を払うとか、いろいろな方法が考えられるかと思うんですけれども、何か考えられていること、検討されていることがあれば教えてください。

○市　　長　　まず、おかげさまで順次増えておりますが、今、370ぐらいの医療機関まで個別接種を拡大してきました。また、さいたま市としては配送体制ができておりますので、これがまた増えてもそれはきっちり対応できる状況になっておりますから、それを増やしていくということが1つです。

それから、もう一つはやはり集団接種がこれから区役所から始まってくると思います。先行実施をし、それから10区全部でやり、その後また民間の施設ほかで、順次やってまいります。市としても、少し大規模接種的なものも含めて、こういった対応もしていくつもりでおりますので、そういったことも適宜市民の皆様にご報告をして、少しでも安心感を与えられるようにしていきたいと思っております。

それから、医師への補助等については、今の国のほうでも新しい制度とございますか、そういったことが報道等でなされていますので、そういったことを踏まえながら検討していきたいと考えています。

○日本経済新聞 別でもう一つ、地下鉄7号線の件で、今年度中に中間駅のまちづくりの計画を進めていくということなんですけれども、まちづくりの計画というのはちょっとぼやとした印象がありまして、もう少し具体的にこういったことを検討していくのか教えていただけますでしょうか。

○市長 すみません。後ほどお知らせをしたいと思います。(会見後資料提供：令和3年度内に中間駅周辺の事業化に向けた整理として、事業区域案の設定と土地利用計画の作成、都市基盤整備手法に関する調査および概算事業費の算出に取り組む)

○読売新聞 読売新聞です。

市長が選挙期間中から2つの危機を訴えてこられて、一つはコロナで、もう一つは人口減ということで先ほども訴えておられたと思いますけれども、コロナについてはワクチンなどという具体的なお話があるんですが、少子高齢化の対策については聞かれた覚えがなくて、こういったところで少子高齢化対策を今考えているのか、その辺りをお聞かせください。

○市長 大きく4つのシンカと申し上げておりますが、もう少し分かりやすく申し上げますと、人口減少社会になる前に、10年後以降も持続可能な成長、発展ができるまち、分かりやすく言うと10年後には、現役世代の皆さんが減ってくるということになりますと、いわゆる歳入が減ってくるということが予想されます。そうすると、これは福祉も教育も、あらゆる行政サービスを全てマイナスで見直さなければいけないということを選択しなければならなくなる可能性があります。ですから、今はまだ人口が増えている間に選ばれる、要するに人口が、定住人口が増えていくための対策、そ

れから交流人口が増えていくための取組、それから企業に進出をしていただけるための取組、それからさいたま市にある企業が発展していただくための取組、要するに歳入を増やしていくための取組と、併せて人口減少が起こったときにも、それ以後も提供可能なサービスを、持続可能な公共サービスをしっかり構築をしていくことが必要だと、大きな概念で言えばそういうことだと思っています。

そして今、特にこれまで福祉の充実を相当図ってきたとっておりますけれども、それと併せて福祉については一層もう少し見直しをしていく、SDGs という理念に基づいて、やはりこれまで増やしてきた中でも、まだ十分に対応ができていない部分もあると思いますので、そういったところをどうフォローアップして、質の面でこれを変えてやっていけるかということだと思っておりますし、また住んでいる皆さんが住み続けていこうと思えるための施策を併せて充実を図っていくと、これが大きな2本立てだと理解をしています。

特にさいたま市は、ありがたいことに、これまで人口が、毎年大体1万人ぐらいずつ増えてきています。ただ、いつまでも毎年1万人増えてくるということには当然ならないと思っておりますし、この間に投資が可能で、10年後にそれがきちりと機能して、いろいろな市民や企業からも選ばれる都市であり続けられるかどうかという、そういったまちづくりをしっかりと実現をしていくために、この4つのシンカのうち例えば都市の強靱化というものは、選んでいただけるための取組でもあるし、住んでいる皆さんがしあわせを実感できるための取組でもある。それから、しあわせのシンカは、住んでいる皆さんが特にしあわせを実感できるための取組であると考えていますし、また成長シンカ戦略については、まさにさいたま市に引き続き人を呼び込んでくる、あるいは企業を呼び込んでくるための取組だと考えております。

詳細については、manifestoの詳細のほうで少し書かせていただいていると思います。それをこれから総合振興計画の実施計画のレベルにこれを落として、毎年この4年間でどういう進捗を図りながら、これを実現していくかということは、そうした中でお示ししていく中で、今後10年先の時代に対応ができるようにやっているということです。

○ 読売新聞 この後、恐らく総合振興計画、実施計画に落とし込むということなんですけれども、今おっしゃっているような歳入を増やしていくという取組と併せて、人口減以降も対応できるようにということなんですけれども、差し当たって、今市長がお考えになっているこの4期目で実現したいことというのは具体的にどういうことでしょうか。今先ほどおっしゃったような目的を達成するために、どういうことが必要だとお考えでしょうか。

○ 市 長 それは具体的な施策ということですか。

○ 読売新聞 施策です。こういったことはこの4年間でやるのだというのがあれば。

○ 市 長 それは、先ほど申し上げましたけれども、待機児童をゼロにしていくこととか、福祉分野では、もちろんこれまで介護の問題、先ほど申し上げましたけれども、介護者カフェということをさいたま市は、全国に先駆けて、きめ細かにいろいろな場所でやって、介護者をフォローアップしてきましたけれども、さらに介護者の問題というのは、この間も老老介護で介護をしている側がされている方を殺めるというような、そういった悲しい事件もこの間にもありましたし、また今、中学生、高校生でも、家族の介護をするためにいろいろな役割を果たしているという、そういった実態も言われ始めて、さいたま市でも教育委員会のほうで詳細な調査を実施していると理解しております。そういったことも踏まえながら、サポートをしていくとか、これまでやってきたことのもちろん見直しも一部していく必要もあると思いますし、また、もう少し視点を変えて対応していくという、そういった施策もあると思っておりますので、そういったことを(マニフェストの) 詳細のほうに、その一部を書かせていただきましたけれども、そういったものを実現していくということになると思います。

4年間ですので、特にまちづくり、あるいはハードのほうは完成するまで、この4年間の中で形にするというところまでは、なかなかいかないものもあるかと思いますが、4年間の中で進められるものはきちんと進めていかなくてはならないと思っております。それは、庁舎問題もわかりですし、地下鉄7号線の問題についても、4年後までに実際の工事にかかる予算まで組み上げていくようなものにはなっていないと思いますけれども、それまでにそういったきちんと投資ができるような状況をつくり上げていくまで調査をしながら、また市民の皆さんとも十分コミュニケ

ーションしながら、それを前に進めていくということになると思います。

具体的なそれぞれの施策のスケジュールリング、工程表については、今後、総合振興計画の実施計画の中で、それを一部改訂させていただき形で市民の皆さんにお示ししていきたいと思っています。

- 朝日新聞 朝日新聞です。
まず、4期目当選おめでとうございます。
- 市長 ありがとうございます。
- 朝日新聞 市庁舎問題についてお聞きしたいんですが、今回先ほど出口調査で半数近くの市民が反対というふうに訴えていると、ただ、今回当選されたわけですから、恐らく今後また庁舎移転の計画を進めていかれるのだと思います。ただ、そこに市民へ説明をしていくということなんですが、これまでも様々な形で市民とコミュニケーションを図ってこられたとおっしゃっているんですが、市長の移転への思いと市民とのどこで齟齬が起きているのか、何が理解不足なのか、どう思われるでしょうか。
- 市長 まず、庁舎問題については、方向性を示したのが今年の2月議会の直前ということもありましたので、市民とのコミュニケーションということだと、必ずしも十分なものではなかったとっております。ただ、これまでのプロセスの中では、市民の代表の方々に入っていただいて、審議していただいたり、いろいろなプロセスを経ながらこれまでやってきているつもりです。
さらに、私自身としても、方針を明確に示させていただきましたので、その中でこれから更に積極的に私からも情報発信をしていきたいと思っておりますし、その中で市民の皆さんから、いろいろなご意見もお伺いをしていかななくてはいけないと思っております。説明という部分でいうと、まだまだ細かい点も含めて足りないと思っておりますので、それについては今後いろいろな機会を通じて、こちらからご説明させていただきことと、あと市民の皆さんから、ご意見を頂戴する部分も、聞く機会をいろいろな形でつくっていききたいと思っております。それをしながら前に進めていくということになると思います。
- 朝日新聞 市庁舎のこの課題について特化した市民との説明会みたいなのを設けられるということですか。

○ 市 長 もちろんそうです。

○日本経済新聞 日経新聞です。

今のワクチンについてなんですけれども、他市の話で恐縮なんですけれども、例えば川口市とかですと、65歳以上の高齢者の希望される方は65%と想定して、2回目完了を6月中に達成したいという目標を掲げております。その内訳として、例えば集団接種が何万回とか、診療所での個別接種が何万回とか、大きな病院で接種すれば何万回とか、具体的な数字を示しているんですけれども、さいたま市これまで診療所を中心に、かかりつけ医を中心という形でしたけれども、その計画の見直しであったりとか、今、一日も早く接種したいと希望される方多くて、ツイッターとかでもさいたま市の予約はなかなか取れないという声もすごく見受けられるんですけれども、こういった計画を考えていらっしゃるのか、ちょっと改めて教えてください。

○ 市 長 今、その詳細な計画について、できるだけ(早く)市民の皆さんにお示ししたいと考えておりますので、それについては今、詰めている段階です。今、おかげさまで個別接種(を实施する医療機関)も増えておりますので、そういったことも含めて個別接種でどのぐらい、集団接種でどのぐらいというようなことをお示しして、市民の皆さんにご理解と安心感を与えられるようにしていきたいと思っております。

○日本経済新聞 例えばいつぐらいを目途にそういったものは出されるのでしょうか。市民の皆さんに安心感を与えるというふうに。

○ 市 長 そうです。ちょっと今、この日までにということは申し上げられませんが、なるべく早く出したいと思います。やはりそれが一番皆さんにとって、市民の皆さん、不安に思っている皆さんにとって重要なことだと思っておりますので、これはできるだけ早く皆様にお示ししたいと思います。

○ 毎日新聞 他にございますか。

なければ終わりとなります。

○ 進 行 それでは以上をもちまして市長就任記者会見を終了させていただきます。

なお、次回は定例記者会見として6月3日午後2時からを予定しております。本日はどうもありがとうございました。

午後 2時45分閉会

※この議事録は、明らかな言い直し、重複した言葉遣い、話し言葉などを読み易く整理したものを掲載しています。なお、会見後追加・訂正・補足等された文言等については（ ）とし、下線を付しています。